

～飛ばく病のあしなを見つめる～

長寿命放射性元素体内取込み症候群とトリチウムの危険性について

西尾 正道 講演会

2018年9月8日(土)

12:30 開場 13:00 開演～16:00 終了

場所：いわき市総合保健福祉センター

参加費：無料

主催：認定NPO法人いわき放射能市民測定室 たちちね

2011年の福島原発事故災害で私たちの生活とこれからの未来は一変してしまいました。あの日から大量放出されている放射性物質は今も私たちを取り巻く環境の至るところに存在しています。また、原発の廃炉や汚染水の問題は解決の見通しも遠く、これからの未来に確実に続いていく重要な問題です。低線量被ばくの世界で生きる私たちにとって、測定し続けることは被ばくを避ける自由を支える最善の策となっています。子どもたちの今とあしたを守り育てるためにできることを私たち一人ひとりが考えていかなければなりません。今回は日本を代表する放射線治療医の西尾正道先生をお迎えし、放射性物質による被ばくが私たちの身体にどう影響するのか、あしたを生きるための大切なお話をご講演いただきます。皆さまのご参加をお待ちしております。

日時：2018年9月8日(土)

12:30開場 13:00開演～16:00終了

場所：いわき市総合保健福祉センター

〒973-8408 いわき市内郷高坂町四丁目191
TEL 0246-27-8555

駐車場：一般用180台 身体障害者用(屋根付き)7台

アクセス

〈電車〉

JR常磐線「内郷駅」下車 1.2km(線路沿い徒歩16分)

〈バス〉

新常磐交通 立野循環「総合保健福祉センター」バス停前

〈自動車〉

常磐道「いわき中央インター」(国道49号経由5.3km 12分)

参加費：無料

【講演中の注意事項】

※講演中のカメラ・ビデオ・携帯電話・ボイスレコーダー等による撮影・音声録音及び配布資料等の無断転載・引用は禁止させて頂きますのでご了承ください

西尾 正道 (にしお まさみち) プロフィール

○函館市出身。1974年札幌医科大学卒業後、
国立札幌病院・北海道地方がんセンター放射線科勤務。
1988年 司科医長。2004年4月機構改革により
国立病院機構北海道がんセンターと改名後も同院に
勤務し、08年4月同院長、13年4月国立病院機構
北海道がんセンター名誉院長。
1992年日本医学放射線学会優秀論文賞、2006年札幌市
医師会賞、2007年北海道医師会賞・北海道知事賞受賞。
著書に「がん医療と放射線治療」(2000年4月、エムイー振興協会
がんの放射線治療) (2000年11月、日本評論社)、
「放射線治療の本番—がん患者2万人と向き合って—」(2002年6月、NHK出版)、
「今、本当に受けたいがん治療」(2009年5月、エムイー振興協会)、
「放射線治療の本番」(2012年4月、旬報社)、「正道ながんのほほ」(2014年8月、旬
報社)、「被ばく列島」(2014年10月、角川学芸出版)、「照るよ、かんと闘く闘えり」(2017
年12月、旬報社)、その他、医学領域の専門学術論文・著書多数。



主催／問い合わせ

認定NPO法人いわき放射能市民測定室 たらちね / たらちねクリニック

(〒971-8162 いわき市小名浜花畑町11-3 カネアソビル3F)

TEL 0246-92-2526 FAX 0246-38-8322

Eメール tarachine@bz04.plala.or.jp

ホームページ: <https://tarachineiwaki.org/>

Facebook: <https://www.facebook.com/tarachineiwaki/>

後援: いわき市教育委員会

